

横浜市立小田中学校 学校だより

# 小田の丘

令和3年7月13日発行

令和3年度 7月号

校長 池田 ゆかり

住所 〒236-0052

金沢区富岡西 1-73-1

☎ 775-3801

## 思いや考えを上手に伝えるには 校長 池田ゆかり

6月末から7月にかけて、部活動の大会が多く行われています。区大会、市総体に向けて部活動に入っているたくさんの生徒たちが目標をもって1年間頑張ってきました。部活動時間が制限される中でも、工夫して一生懸命取り組む姿が見られました。特に3年生の皆さんが頑張る姿は、勝っても負けてもとても輝いていました。また、試合に出場できなかった人もいましたが、その人たちが一生懸命サポートをしたり応援をしたりしたからこそ、それぞれの部活動が活躍できたのだと思います。コロナ禍で市総体がなくなってしまった昨年より早くも1年がたちます。コロナ感染のニュースを気にしながら、先の予測が立たない中で経験した工夫や努力は、尊い経験となって未来を創る力になると思います。

これまで、皆さんを支えてくれた家族、先生、友達、先輩、後輩・・・多くの人たちに感謝の気持ちを自分の言葉と態度で表すことができるような人になって欲しいです。それぞれの部活動の結果は次号の学校だよりでお伝えします。

さて、「自分の言葉と態度で表す」ことは簡単なようで難しいものです。

校長「なんで行くの？」生徒「歩いていきます。」校長心の声「しまった！！行かなければならない理由を聞きたかったのに・・・」

私の言葉足らずな問いかけのせいで、会話がとぎれてしまいました。言葉のやり取りが発端となってトラブルになることは少なくありません。特に、マスクをして顔の表情がわからない、楽しいはずの昼食時間も前を向いて黙食が続いている今、「いつも命令口調で言うの？普通に言ってよ」「今、この場でいうの？恥ずかしい！！」など、そんなつもりはなくても聞き手のとらえ方は様々です。冗談のつもりで言ったことが、相手は冗談と受け止めず「いじめ」になってしまうこともあります。

2013年に「いじめ防止対策推進法」が施行されて既に8年たちました。いじめのとらえ方について私たち大人も生徒も共通理解が不可欠です。この法律で考えるとAさんの言動がBさんにとって「嫌だった」ら、Aさんにいじめたという認識がなくても「いじめ」として認知しなくてはならないのです。「いじめ」を認知したら、学校は組織として対応します。小田中学校の教職員は、「いじめ」について丁寧に生徒の表情や様子を観察しながら指導したり、保護者の方とともに、支援したり見守ったりしていますが、SNSも含めた言葉のやり取りが原因による「いじめ認知」の現状を鑑みると「相手の気持ちや状況に思いを寄せて、自分の思いや考えを上手に伝えることの大切さ」を痛感します。

自分の思いや考えを上手に伝えられず、反射的に感情を爆発させそうになった時！！

★怒りは6秒でピークを過ぎるので、少し待ってから伝える。

むやみにイライラしたり爆発してしたりするのを何とかしたい人！！

★自分の怒りを点数化してみる。(自分なりの怒りの物差しを持つ)

★どういうときに自分は怒りをぶつけるのか考える

(怒っている基準が見えてくるそして同じ基準で怒れるようになる)

(参考 アンガーマネジメント 叱り方の教科書 著者 安藤俊介)

もうすぐ夏休みに入ります。

小田中学校が重点化して生徒を育てているのは「コミュニケーション力」「課題発見・問題解決能力」「持続可能な社会の創造に貢献する力」です。時間の自由度の高い貴重な時期をコミュニケーション力向上目指して、怒りの感情に向き合ってみませんか？

## よこはま子ども国際平和スピーチコンテストに参加しました

6月29日(火)に3年4組鈴木理沙さんがよこはま子ども国際平和スピーチコンテストに参加しました、その作品を紹介します。

### きっかけを掴む

鈴木 里沙

私の中学校では、生徒規約が改正され、各専門委員の選出が各学級男女一名ずつから男女問わず二名ずつとなり、SDGsの中にあるジェンダーの平等という視点を重視した方法となりました。私はそれまで各専門委員の選出方法をSDGsの視点から見直してみようとしたことも、なぜ男女一名ずつなのかと疑問を持ったこともありませんでした。この経験から、SDGsのために私ができることは、自分の周りを、視点を変えて見直してみようということで、いつからでも始められると思いました。

また、標準服に女子スラックスが追加されました。このことを初めて聞いたとき、自分たちの学校はジェンダーの平等のために、ルールを変えることもできるのだと、嬉しい気持ちになりました。

ジェンダーの平等、SDGsの達成には、自分たちのルールは自分たちで改善していくことが必要だと思います。私はルールを見直すことに対して、一人では解決できないこともあり提案して良いのか心配で、できるだけ避けていました。しかし、自分の意見や疑問を伝え、話し合うことが、ルールを改善するということにつながると思えるようになりました。

このように、行動を始め、そして続けていきたいです。また、私はどのような人たちに対しても、彼らの立場で物事を見て考えること、自分から意見や疑問を伝えることを目指しています。

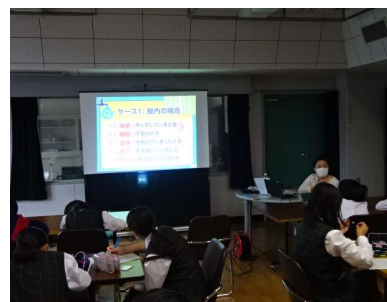
私の夢は国際機関の職員として働くことです。きっかけはアメリカのオレゴン州に住んでいたとき現地の小学校で、イエメン出身の女の子と友達になったことです。イエメンでは内戦が続いています。この事実を知って、私は発展途上国のために貢献したいと思うようになりました。また、青年海外協力隊で活動していた私の学校の先生からパプアニューギニアでは、日本へも輸出されるパーム油の原料となる油やしの栽培によって豊かな自然が失われつつあるという話を聞いたこともきっかけです。

SDGsへ向けた取組を世界中で加速させていくこと。私はその一端をになえるようになりたいです。

## 明治食育セミナーに参加しました

6月25日（金）保健美化委員の生徒に（株）明治の方を講師に迎え、「熱中症」が起こる環境状態、熱中症の症状や危険性などの基礎知識や暑さに負けないポイント、水分の役割など熱中症の予防や対処方法について学習しました。

また、このセミナーで学んだことを小中合同学校保健委員会での発表に繋げました。

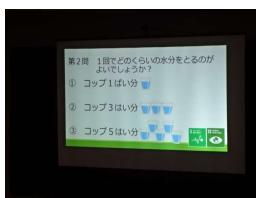


## 小中合同学校保健委員会を行いました

7月7日（水）に小中合同学校保健委員会を行いました。

今回のテーマは、「健康によい食生活について考えよう」ということで、食育セミナーで学んだことを、小学生にもわかりやすく興味をもって学習してもらえるように、クイズを取り入れるなどの工夫をして発表しました。

### 水分クイズ



## SDGsの取組についてNHKから取材を受けました

7月7日（水）にNHKから取材を受けました。NHK world（海外の160か国に向けたニュース番組の中のSDGs特集）で9月中旬に放送が予定されています。取材内容は、日本の公立中学校のESD推進の現状、校内掲示物・授業の様子、学校保健委員会・自然教室実行委員会などで、ディレクター・カメラマン・音声の3名の方々が来校しました。生徒たちは、NHKの取材に対し、自分の考えを一生懸命に話していました。NHKのディレクターさんは、生徒の皆さんのしっかりした対応にとっても感心していました。



### 自然教室実行員会【アップサイクル】

本来であれば、お弁当のフタはゴミとして処分されるが、それをプラバンとして価値をつけて、自然教室の思い出につながるカードなどを製作した。

### 5組の授業【アップサイクル】

ペットボトルやお菓子の袋を使い、キーホルダーやポーチを製作した。

## 前期教育実習が終了しました

6月14日(月)～7月2日(金)までの3週間、本校卒業生の三名が教育実習を行いました。3週間の実習を終えて、「何を学ぶことができたか」、「将来どんな先生になりたいか」を聞いてみました。その内容を紹介します。

### 津田朋尚先生(数学)

実習を終えて、学んだことは、物事の答えに必ずしも正解は存在しないということです。実習をしている中で、授業や生徒と話すときなど、自分の中で、答えを求めすぎてしまう場面がありました。しかし、それは必ずしも1つの答えがあるというわけではなく、無数の考え、選択があり、1つに決める必要はないということを知りました。その経験を生かし、生徒には、柔軟な発想を持ち、生徒自らが率先して、考え、選択し、行動できるような環境作りができるような先生になります。そのために、日頃から生徒との関りや授業などを大切にしていきます。最後になりますが、3週間という短い間でしたが、貴重な体験をすることができました。生徒の皆さん、先生方お世話になりました。ありがとうございました。



### 一斗日南子先生(理科)

私がこの実習で最も学んだことは、教師の仕事の多様さです。生徒であった頃では考えつかないほど多くの時間や情熱をかけて、私たちを支えてくださったのだと実感しました。そして実習生となり、先生方の仕事の一部を経験し、困っていると手を差し伸べてくれる小田中生の優しさ感動しました。今回の経験を生かし、私は今後どんなことにも妥協せず、最善を求め続けられるような、そして自分自身も学校の雰囲気も、困っている人がいたら手を差し伸べられるような空気のある学校を作っていける先生になりたいです。



### 原田好輔先生(数学)

私は今回の教育実習を通して、教員とはどのような職業なのか、教材研究とは、学級経営とは、生徒との接し方など現場でしか経験できないことを沢山学ばせていただきました。特に、教員という仕事がかこれほどハードなものだということを実習に来て初めて分かりました。でも、その中で楽しさを見出せたら、これほど人生が充実する職業は無いと思います。今後は、誰にいつ何時、聞かれても「教員の道に進んだことは、決してまちがっていなかった。」と胸を張って答えられる先生になりたいです。



## 《お知らせ》

○エレベーター工事が始まりました。完成は2022年3月中旬の予定です。工事の関係で、中庭にプレハブが設置されています。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

○延期になっておりました、30周年記念式典航空写真の撮影は、7月20日(火)に予定しています。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



新しい生活様式の中で、

小田中学校は **信頼・温もり・笑顔** にあふれた学校をめざします！！